施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　06月　16日

施策 No.	6	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
主管課名	スポーツ振興課	電話番号	0285-84-2811
関係課名	健康増進課、社会福祉課、いきいき高齢課、生涯学習課、都市計画課、国体・障害者スポーツ大会推進室		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874	78,592	77,635			

施策の目標	市民一人一人が、自主的にスポーツ・レクリエーションを行うことにより、心身ともに健康で活力ある生活を実現します。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	市民意向調査の結果及びスポーツ振興課の集計により把握する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
市スポーツ施設利用者延人数	目標値	人	575,625	584,500	593,400	602,200	611,200	620,000	620,000
	実績値			364,983	447,338	549,088			
何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	目標値	%	55.5	56.4	57.3	58.2	59.1	60.0	60.0
	実績値			60.3	59.5	61.2			
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民はスポーツ・レクリエーションを自主的に行い、日頃から体を動かすよう心掛けます。 行政はスポーツ・レクリエーション活動の機会の提供と、施設等の環境整備の充実に努めます。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（1）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

【市スポーツ施設利用者延人数】
　コロナ禍の中でも、市民の意識として、スポーツを通した健康増進等への関心は高くなっており、健康づくりのために意識的に運動をするよう心掛けている市民の割合は高い。（市民意向調査の中で、「健康づくりに取り組んでいること」のうち、意識的に運動するよう心がけている市民の割合の推移は、R1:39.8%、R2:39.4%、R3:40.7%、R4:40.2%となっている。）
　しかしながら、コロナは、市民のスポーツ施設の利用に際し大きな影響を及ぼしており、令和4年度の市スポーツ施設利用者延人数は、目標602,200人に対し実績549,088人と目標値を下回った。
　そうした中で、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の防止対策として実施していた利用制限等の緩和を受け、利用者も少しずつ増え、また各種スポーツ関係のイベント等も開催できるものも出てきていることにより、令和3年度と比較すると利用者が2割以上増加するなど、目標値との差は縮小している。
　「市スポーツ施設利用者延人数の推移」
　　R2:364,983人（目標値の62.4%）
　　R3:447,338人（目標値の75.4%）
　　R4:549,088人（目標値の91.2%）
　なお、スポーツ施設利用者の減少に係る要因としては、コロナによるものの他、令和2年10月の附属体育館の除却及び令和3年4月からスポーツ交流館がワクチン接種会場となり、使用できなくなったことも大きく影響していると思われる。

（課題）
・コロナ禍により、スポーツ施設の利用から遠ざかってしまった市民をどのように取り戻すか。
・スポーツ施設の利用者増を図るための方策の検討

【何らかのスポーツ･レクリエーションを行っている市民の割合】
　市民意向調査の中で、何らかのスポーツ･レクリエーションを行っている市民の割合の推移は、R2:60.3%（目標値:56.4%）、R3:59.5%（目標値:57.3%）、R4:61.2%（目標値:58.2%）と、コロナ禍の中でも目標値を上回る状態が継続できている。
　目標値を上回る状態の継続ができているのは、コロナ過においても、免疫力の向上等に繋がるということで、健康･体力保持の意識が高まり、市民のスポーツへの関心が大きくなったことが考えられる。
　そうした中で、コロナ禍でも密を回避でき、個人で手軽に行えるウォーキングや筋力トレーニング等を実施する市民は多く、スポーツ教室の種目としても取り入れている。
　なお、「栃木県政世論調査」によるスポーツ活動実施率（週1回以上スポーツをしている比率）は、R2:53.5%、R3:52%、R4:55.7%であり、真岡市におけるスポーツ・レクリエーションの実施率は、県全体よりも高い水準にあるといえる。（ただし、本市の調査は、「日ごろどのようなスポーツ･レクリエーションを行っているか」という設問で行っているため、県が行っている「週何日以上スポーツを実施している」という設問ではないので、単純な比較とはならない。）

（課題）
・スポーツ･レクリエーションを行う市民を更に増やすための方策の検討

（2）今後の方向性（（1）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

【市スポーツ施設利用者延人数】
・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられる中、コロナ禍の前のように、多くの市民がスポーツ施設を利用できるよう環境整備等の促進を図る。
　また、スポーツ施設全般において、市民が利用しやすい環境となるよう運営管理に努めることにより、利用者の利便性の向上を図り、施設利用人数の増加に繋げる。
・スポーツ施設の利用者数は、未だにコロナ前の水準には戻っていないが、何らかのスポーツ･レクリエーションを行っている市民の割合は、コロナ禍の中でも増加傾向にあるため、そのような方々にスポーツ施設を利用してもらえるよう、お試し的なスポーツ教室の開催や気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し、施設利用に繋げられるように努める。
・スポーツ教室修了者に対し、修了者のグループ作りを促進すると共に、既存の団体等への加入を促すことにより、継続的にスポーツ施設を利用してもらえるように尽力する。

＜今後のスポーツ施設に関する案件について＞
・スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合運動公園については、総合運動公園整備計画に基づき、都市計画課等との連携を図りながら、南ブロックの整備を推進していく。
・総合体育館は、持続可能な管理運営を推進するため、今後、大規模改修を実施予定で計画を進めている。
・市民がスポーツ施設を利用しやすくなるよう、スポーツ施設の借用について、インターネット上で、空き状況の確認ができるように検討すると共に、予約まで行えるようにするための調査･研究を行う。また、市民の利便性を考え、市民を待たせない、書かせない、来させない窓口を目指し、検討を進めていく。
・栃木国体等のスポーツレガシーを継承し、スポーツを活用した地域活性化に取り組むため、栃木県と連携し、スポーツイベントや大会、そして合宿等を誘致し、市内外の交流人口拡大を図る。また、障がい者スポーツについては、市の福祉関係部署等で実施するスポーツ関連事業への支援･協力をしていく。

【何らかのスポーツ･レクリエーションを行っている市民の割合】
・子ども達が、幼少期から様々な経験をしていく中で、子どもの健康づくりや体力づくり等について鑑みると、スポーツに触れ、親しむことが必要であることから、スポーツ少年団活動等の支援の充実を図っていく。
　また、子ども達へのスポーツ機会を充実させるため、プロスポーツ選手等によるスポーツ教室等を開催しているが、毎年実施している「栃木ＳＣによるこどもサッカー教室」の他、真岡市アンバサダー等による教室の開催等を検討して行く。
（令和5年5月には、小･中学生を対象に、アンバサダーの宇賀神みずき選手によるバレーボール教室を開催した。）
・個人はもとより、親子や家族など多世代で参加できるスポーツ教室や各種スポーツイベント等を開催し、スポーツに取り組むきっかけ作りに繋げられるよう、気軽にスポーツ活動に参加できる機会の提供について充実を図っていく。
（特にスポーツ教室については、常にスクラップ＆ビルドを考えながら、スポーツを行っていない市民が最初の一歩を踏み出すきっかけとなるように、市民が望む教室を数多く開催できるようにするため、アンケート等の実施や様々な場面での調査等を実施する。そして、子どもから高齢者まで、全世代の市民の方々にスポーツに触れ合う機会を数多く提供できるよう、だれでも気軽にできるニュースポーツ関係の教室について、様々な検証を実施していく。）
・スポーツ活動促進の礎を担うスポーツ推進委員については、スポーツ推進委員が活動を行う上での資質向上を図るための研修等の開催や講習会等への参加を促すと共に、スポーツに関する行事等への積極的な協力参加を高めるよう更なる指導･助言を行う。
・「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができることを目的に設立された、総合型地域スポーツクラブ「もおかスポーツクラブ」の運営強化に向け、引き続き、助言や指導を行う等支援をしていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	総重	総合運動公園整備事業	都市計画課総合運動公園整備係	運動公園整備率（面積ベース）	%	65.0	現状維持
				27.2haのうち市民が利用できる面積	ha	17.8	現状維持
2	総重	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ振興課指導係	会議、研修、講習会等の延べ参加者数	人	233	現状維持
3	総重	スポーツ協会補助事業	スポーツ振興課指導係	県以上の大会等で3位以内の種目数	種	3	現状維持
4	総重	真岡井頭マラソン大会開催事業	スポーツ振興課指導係	市民参加者数	人	0	現状維持
				市外参加者数	人	0	現状維持
5	総重	栃木SC支援事業	スポーツ振興課指導係	市民デー参加人数	人	464	現状維持
				少年サッカー教室参加人数	人	19	現状維持
6	総重	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	スポーツ振興課指導係	自主財源／運営費	%	100	現状維持
				スポーツ教室実施回数	回	178	現状維持
				スポーツ教室延べ参加者数	人	4,129	現状維持
7	総重	スポーツ教室運営事業	スポーツ振興課指導係	参加人数	人	404	現状維持
				申込者の割合（定員に対しての申込数）	%	56.5	現状維持
8	総重	はが路ふれあいマラソン開催参画事業	スポーツ振興課指導係	市民参加者数	人	0	現状維持
				県内の参加者数	人	0	現状維持
				県外の参加者数	人	0	現状維持
9		スポーツ施設運営管理事業	スポーツ振興課管理係	スポーツ施設数（地域運動広場除く）	箇所	80	予算増大
				施設利用人数（地域運動広場除く）	人	549,088	予算増大
				施設の修繕・工事請負数	箇所	31	予算増大
10		国体推進事業	国体・障害者スポーツ大会推進室国体・障害者スポーツ大会推進室	実行委員会交付金	千円	87050	廃止
				実行委員会会議開催数	回	2	廃止
				大会啓発・PR事業数	回	7	廃止
11	総重	少年スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課指導係	交付指導員	人	90	現状維持
				大会参加少年スポーツクラブ	団体	3	現状維持
				大会参加少年スポーツ選手	人	67	現状維持